

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	保育内容（人間関係）				
担当者氏名	荘司 泰弘				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成				

《授業の概要》

幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「人間関係」を理解し、異年齢交流環境による学習支援活動を援助するポイントを身につける。

《テキスト》

ポータルサイトのオンライン講義の資料を対面形式で使用する。

《参考図書》

幼保連携型認定こども園教育・保育要領  
[https://www.mhlw.go.jp/web/t\\_doc?dataId=00010420&dataType=0&pageNo=1](https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00010420&dataType=0&pageNo=1)

《授業の到達目標》

乳幼児が成長する過程で、人との関係が人格形成の基礎であることを理解し、乳幼児が安定感を持つ人間性として「愛」・「感謝」・「信頼」・「純心」を教える。

《授業時間外学習》

Pestalozzi の『隠者の夕暮れ』を読み、人間性の基礎になる「愛」・「感謝」・「信頼」・「純心」について学んでおいてください。

《成績評価の方法》

知識に関する評価 試験 50%  
 レポート 20%  
 技能に関する評価 成果発表 30%

《備考（教員経験の有無）》

エンカウンターベーシックトレーニング2回はジャージで実施する。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業内容を概説し、評価や授業の方法について説明する。
2	人間性とは	人間性の基礎（愛・感謝・信頼・純心）を保育活動でどのように引き出すかを考える。実技は「鬼ごっこ」です。
3	領域人間関係	人間関係を援助として、認定こども園教育・保育要領の領域「人間関係」を学ぶ。実技は「電信ゲーム」です。
4	人権保育	部分的全体の思想から、人権保育や多文化共生保育から自分だけが生きているのではないことを考える。実技は「影踏み」です。
5	生命と人間性	乳幼児期の人間関係の課題から友達を気遣う人間性を培う指導案を作成してみる。実技は「カン蹴り」です。
6	ストレスの解消技術	人間性を維持するために太極拳・ヨーガ・密教からストレスの解消技術を学ぶ。実技は「ヨーガと太極拳」です。
7	エンカウンタートレーニング	エンカウンター・ベーシック・トレーニングで受容・共感・一致の自己容量を増やす。実技は「エンカウンタートレーニング」です。
8	子育て相談	保育現場で想定される子育て支援相談を模擬体験してみる。実技は「子育て相談」です。
9	異年齢児との交流	乳幼児が人間関係を学ぶ異年齢同集団の学習環境とグループ活動を模擬体験する。実技は「手つなぎ鬼」です。
10	保育教諭の資質	一人ひとりのこどもの目線に立った保育教諭の関わりと援助技術を考える。実技は「高鬼」です。
11	人との関わり方	セラピスト・トレーニングでこどもとの接し方をトレーニングする。実技は「はじめの一步」です。
12	こどもの世界	外国人、高齢者、地域の人達、要特別支援児と親しむ交流指導計画案を作成する。実技は「しっぽとり」です。
13	認定こども園	子育て支援機能の必要性を考える。実技は「鍋 鍋 底ぬけ」です。
14	アフターケア	しつけや保護に失敗した保護者のこどもをケアする認定こども園の機能を紹介する。実技は「カラス数の子」です。
15	まとめ	乳幼児期の人間関係を支援する保育教諭の人間性について総括する。